

## EA780BA-2(レーザーライン)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。



**注意:** 本機はクラス2Mのレーザー光線を照射します。  
目を損傷しますのでレーザー光線を凝視したり人や動物に向けないでください。  
また光学機器で直接レーザー光線を見ないでください。

### ●仕様

- ・自動検出範囲:  $\pm 3^\circ$
- ・精度:  $\pm 2\text{mm}/10\text{m}$
- ・操作範囲: 最大50m(受光器使用時)
- ・レーザー波長: 635nm
- ・レーザークラス: 2M(5mw未満)
- ・操作温度:  $0 \sim 50^\circ\text{C}$
- ・保管温度:  $-10 \sim 70^\circ\text{C}$
- ・電源: 単三電池x3本
- ・重量: 1.2kg

### ●安全について

- ・光線を直接見ないで下さい。
- ・レーザーが届く範囲に子供を近づけないで下さい。
- ・故意に人や動物を狙わないで下さい。
- ・使用前、運搬後、長期未使用時等精度テストをして下さい。
- ・精密機械に付き取扱いには充分注意して下さい。
- ・衝撃を避け保管や輸送時はケースに入れてください。
- ・柔らかい布にガラスクリーナーでお手入れしてください。

### ●精度について

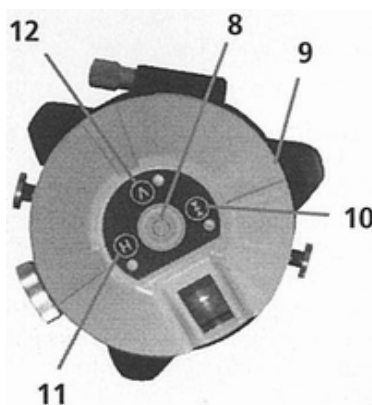
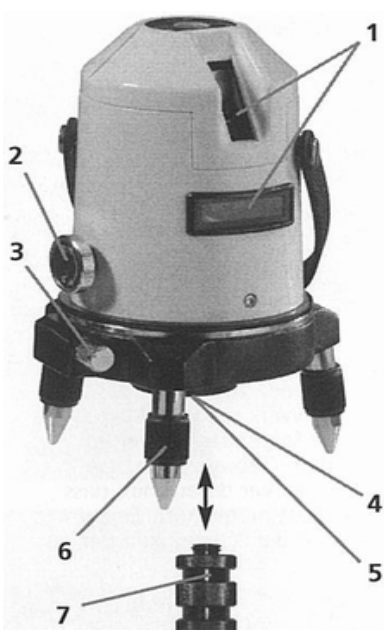


レベルの気泡が正確に真ん中にある場合の精度は2mm/10mです。



レベルの気泡がリングに収まっている場合の精度は3mm/10mです。

### ●各部名称



- 1、レーザー照射口
- 2、スイッチ
- 3、調整ノブ
- 4、5/8"ネジ
- 5、垂直レーザー口(下面)
- 6、調整脚
- 7、三脚アダプター
- 8、レベル
- 9、電池ボックス
- 10、レーザーモードスイッチ
- 11、水平ラインスイッチ
- 12、垂直ラインスイッチ

※本体下部に5/8"三脚取付けネジがあります。  
三脚アダプターを使えば一般的な望遠鏡の三脚も使用できます。

## ●測定方法

### ○電池の入れ方

電池蓋を開け電池を表示通り正しく入れ蓋を閉めます。

### ○調整

大まかな調整は本体上部を回転させて行ないます。

その後の微調整は調整ノブで操作します。

調整脚は傾いた場所の操作を可能にします。

### ○水平/垂直の測定

スイッチを入れると安全ロックが解除され

水平レーザービームを照射します。

水平/垂直ラインは11/12スイッチで

それぞれ操作してください。

ラインをよく見えるようにするにはレシーバーモードを

オフにしてください。

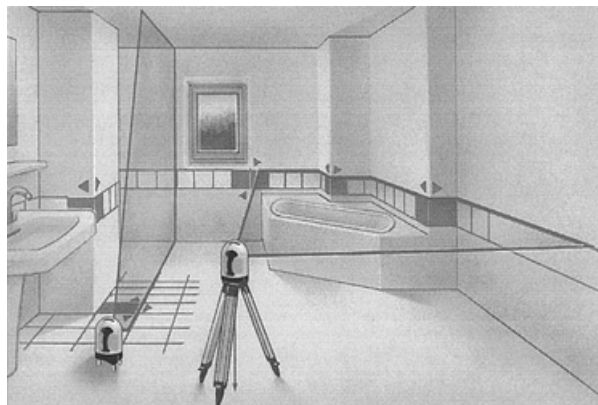
(オフ=スイッチ10を操作)この場合レシーバーは使えません。

※もし本体が水平より3°以上傾いていればレーザーは点滅します。

その時は脚(6)を調整するかより平らな場所へ設置してください。

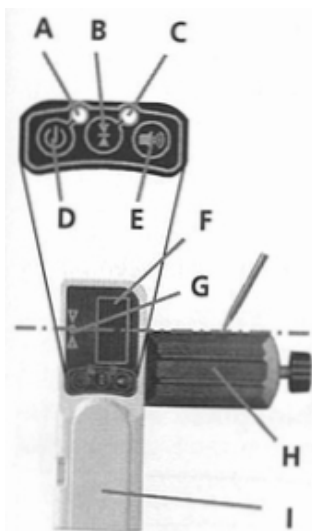
レベルを参考にしてください。

※ 注意: 搬送時は常にスイッチを切って振り子をロックし慎重に運んでください。



## ●ハンドレシーバー機能説明

### ○各部名称



- A、電源ランプ
- B、精度スイッチ
- C、精度ランプ
- D、電源スイッチ
- E、アラームボタン
- F、受光部
- G、レーザーライン  
指示ランプ
- H、固定台
- I、電池蓋(裏面)

### ○特長

対象までの距離が長すぎたり周囲が明るくレーザーラインが見えない時に使用します。

### ○使用方法

- ・電源スイッチを押すと電源ランプが光り使用できます。
  - ・本体のレシーバーモードを起動します。
  - ・レーザーラインは高周波震動(10kHz)になり暗くなります。
  - ・ハンドレシーバーはこの高周波レーザーを最大50mまで検知する事ができます。
  - ・検知するには水平ラインは上下に垂直ラインは左右に受光部へラインを受けるように動かします。
  - ・レーザーライン指示ランプが点けば水平/垂直位置を確認する事ができます。
  - ・感度調整は精度スイッチを押してください。(精度ランプは15mまでなら緑色、50mまでなら赤色)
  - ・アラーム音はアラームボタンを押して入/切してください。
- ※レーザー光は中心が最も強く端に行くほど弱くなります。
- 条件により最大測定距離が緑点灯時に7～15m、赤点灯時に30～50mに変わります。

●精度テスト(ユーザーご自身で精度をチェックする事が可能です。)

○本体を二つの壁の真ん中に置きます。

その時両壁から最低5mは離してください。

スイッチを入れ(レシーバーモードはOFF)てください。

三脚を使うことでより精度を上げる事ができます。

1、壁にA1の印を付けてください。

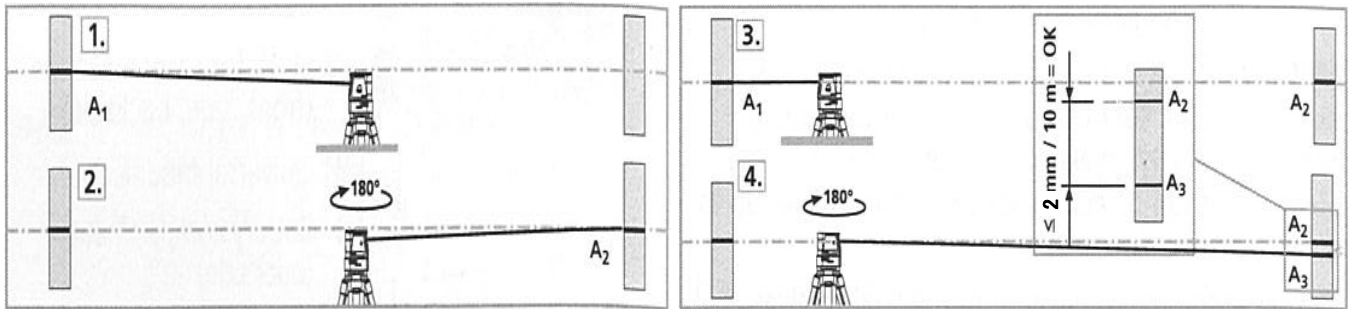
2、本体を180° 回してA2の印を付けてください。

A1とA2の間が水平になります。

3、本体をA1側の壁のなるべく近くに置き高さをA1ポイントに揃えてください。

4、本体を180° 回してA3の印を付けてください。

A2とA3の間隔が誤差になります。



※A2とA3の間隔が2mm/10m以下であれば許容範囲です。

○ 垂直ラインのチェック

本体を壁から約5m離して置いてください。2.5mの糸を付けた下げ振りを壁から垂らします。

本体のスイッチを入れ下げ振りの糸とレーザーの垂直ラインを揃えます。

糸とラインの差が1.5mmを超えなければ許容範囲内です。

○ 水平ラインのチェック

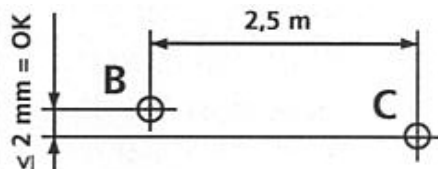
本体を壁から約5m離して置いてレーサークロスラインを壁に照射してください。

クロスポイントBに印をします。

本体を右に回し約2.5mの箇所クロスポイントCに印をします。

そこから延びる水平ラインとBポイントの差が2mm以下か確認します。

同様に左に回しチェックしてください。



※校正が必要な場合は窓口代理店へご相談願います。



株式会社 エスコ

本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL (06) 6532-6226 FAX (06) 6541-0929